

# 経済日誌

2026年4月

P=ポイント

国 内		県 内	
1日	<b>日銀短観 大企業景況感 先行き悪化 原油高の長期化懸念</b> 日銀が発表した2026年3月の企業短期経済観測調査(短観)は、大企業の景況感を示す業況判断指数(DI)の3カ月後の先行きが製造業、非製造業ともに最近から悪化。中東情勢緊迫化の影響で原油価格の高騰が長引くとの懸念が悪影響。	5日	<b>宮崎市の2施設 「命名権」決定</b> 宮崎市が命名権(ネーミングライツ)のスポンサーを募集している市営運動施設のうち、プロ野球・福岡ソフトバンクホークスのキャンプ地で知られる同市生目の杜運動公園など2施設のスポンサーが決定。同公園のスポンサーにはアイ・ホーム(宮崎市)が、市総合体育館にはキング(宮崎市)がそれぞれ決定。
7日	<b>一般会計 過去最大122兆円当初予算成立</b> 一般会計の歳出(支出)総額を過去最大の122兆3,092億円とした国の2026年度当初予算が、参院本会議で与党などの賛成多数により可決、成立。防衛産業や人工知能(AI)・半導体といった戦略17分野に投資を加速させる高市政権の看板政策を推進する。	7日	<b>県内倒産25年度51件 過去10年で最多</b> 東京商工リサーチ宮崎支店によると、県内企業の2025年度の倒産件数(負債額1,000万円以上)は、前年度比1件増の51件となり、過去10年間で最多。負債総額は24.5%減の57億1,800万円だった。産業別では建設業、サービス業他が各14件で最多。
8日	<b>3月の街角景気、先行き指数低水準 イラン情勢を警戒</b> 内閣府が発表した2026年3月の景気ウォッチャー調査(街角景気)は、先行き判断指数(DI 季節調整値)が前月比11.3P低下の38.7となり、新型コロナウイルス禍だった2020年12月以来の低水準。イラン情勢の悪化や、資源価格の急上昇を背景に、企業も家計も急激な景気悪化を警戒。	15日	<b>宮崎県、世界最大級のクルーズ見本市に出展</b> 県と県観光協会は14日(日本時間15日)、米国・マイアミで開催した世界最大級の海外クルーズ見本市「シートレード・クルーズ・グローバル2026」にブースを出展。世界各国のクルーズ会社の関係者らに、宮崎、細島、油津港の寄港地としての魅力を売り込み。
15日	<b>訪日外国人客、3月は3.5%増 中東客は3割減</b> 日本政府観光局(JNTO)が発表した2026年3月の訪日外国人客数は、前年同月比で3.5%増の361万8,900人で、3月の最多を更新。一方、中東情勢緊迫化による航空機の欠航などが響き、中東客は前年同月比30.6%の減少。中国客も中国政府の渡航自粛要請を受け、同55.9%の減少。	16日	<b>県産完熟マンゴー「太陽のタマゴ」初競り 2玉最高55万円</b> 県産完熟マンゴーの最高級ブランド「太陽のタマゴ」の初競りが、全国23市場で一斉に開催。宮崎市中央卸売市場では、西都市産4Lサイズ(約500~649グラム)の2玉が全国で最も高い55万円で落札。全国で2,478箱を販売。
27日	<b>東証終値 初の6万円台 中東不安の中、AIけん引</b> 27日の東京株式市場は、日経平均株価(225種)が大幅続伸。前週末比821円18銭高の6万537円36銭で取引を終え、終値として初めて6万円を超えた。生成AI(人工知能)の需要拡大に伴う半導体関連株の上昇に加え、イランが米国に新たな提案を行ったことが伝わり、投資家心理が改善。	16日	<b>アミュ宮崎、売上高最高82億8,000万円 5年連続増収</b> JR宮崎シティは、アミュプラザみやざき(宮崎市)の2025年度全館売上高が前年度比3.7%増の82億8,000万円となり、過去最高を更新し、5年連続の増収を記録したと発表。会社によると、ファッションやスイーツ店舗を含む話題性の高い期間限定ショップを誘致したことが奏功。

## 暮らしの相談

2026年6月・7月の予定 宮崎地区(法律相談)

6月17日(水)

7月15日(水)

弁護士が無料で相談に応じます。相談ご希望の方は、最寄りの営業店もしくは下記へお電話をお願いします。お気軽にご利用下さい。

<お問い合わせ先> 宮崎銀行資産運用部 TEL 0120-380-355

